

# 五代砂留遺跡群

一般国道17号(上武道路)改築工事に伴う  
埋蔵文化財発掘調査(その3)報告書

2012.3

国 土 交 通 省  
財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団

## 五代砂留遺跡群

一般国道17号(上武道路)改築工事に伴う  
埋蔵文化財発掘調査(その3)報告書

二〇一三・三

国 土 交 通 省  
財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団



# 五代砂留遺跡群

一般国道17号(上武道路)改築工事に伴う  
埋蔵文化財発掘調査(その3)報告書

2012.3

国 土 交 通 省  
財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団



遺跡遠景(南方から)



遺跡近景(東方から)









































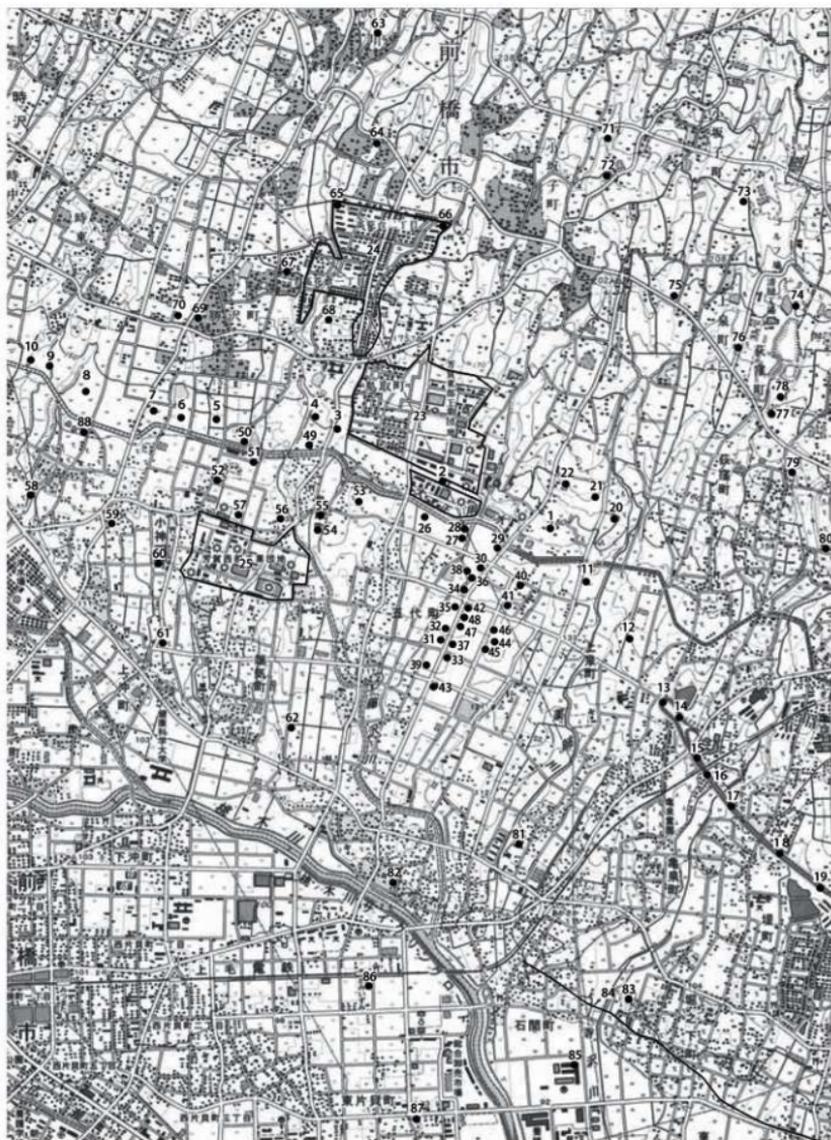












第9図 周辺遺跡位置図(国土地理院発行地形図「前橋」大胡使用1/25,000)



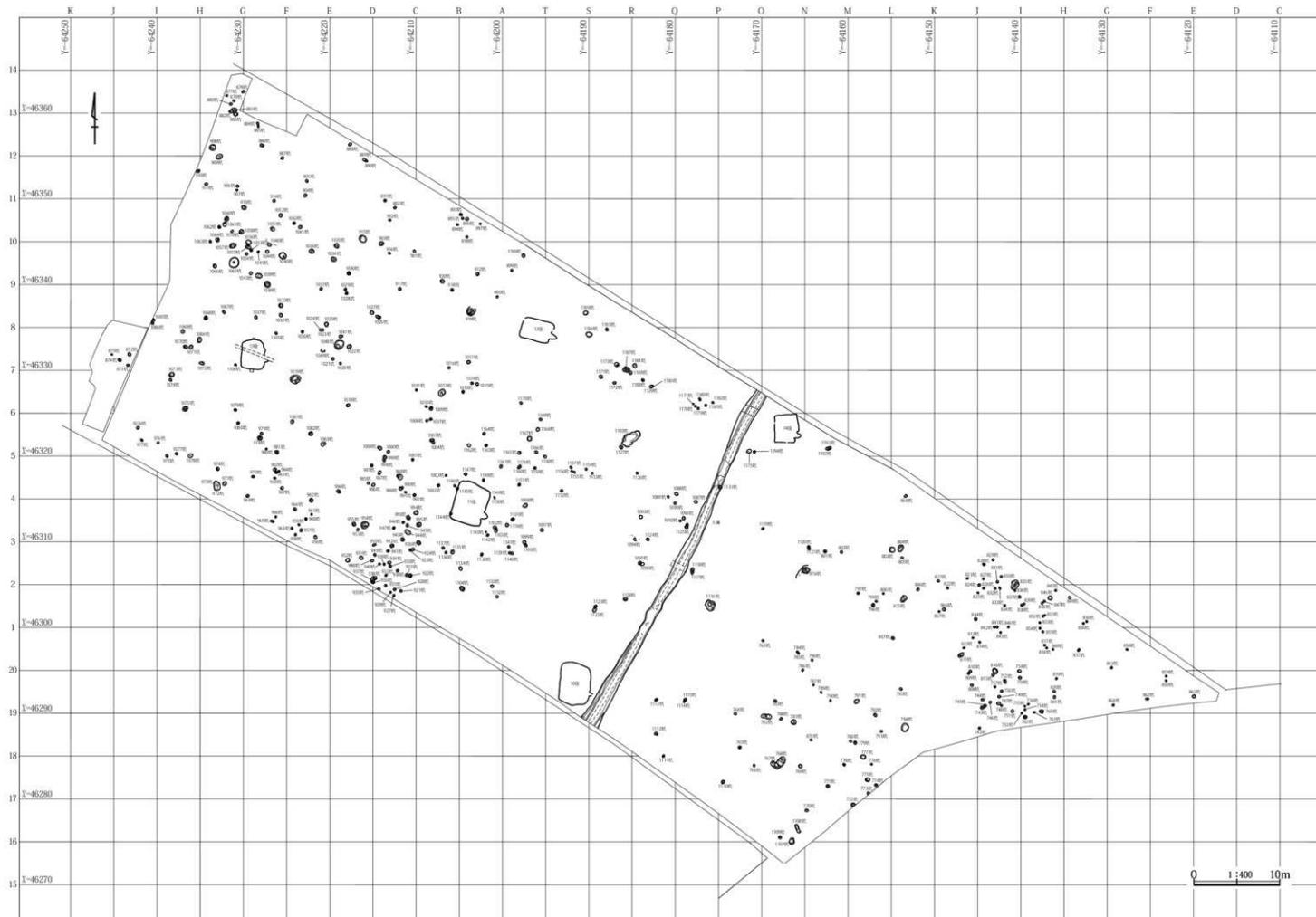




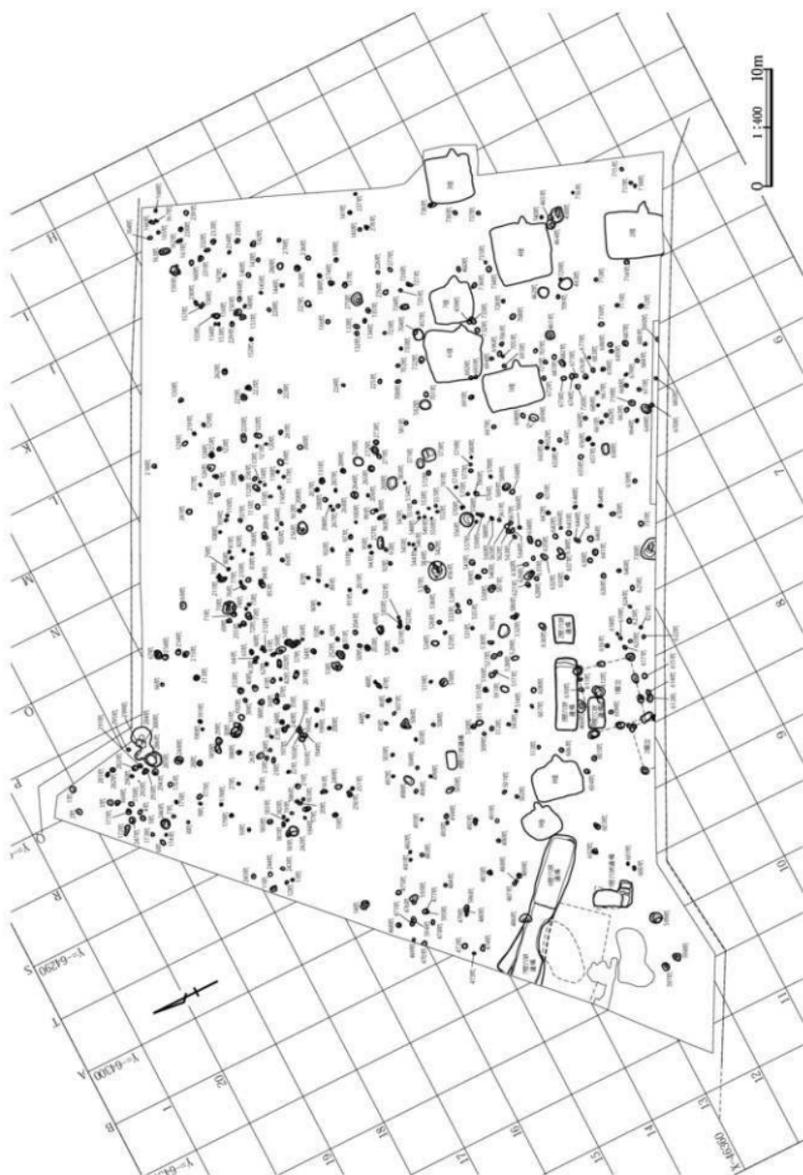








第12図 32区遺構全体図



第13図 33区議場全体図



























































































































20号住居(第79～83図、PL.22・45・46)

**位置** 45O14 45区中央部に位置し、南東には19号住居が隣接している。

**形状・規模** 隅丸長方形を呈し、長軸5.80m、短軸5.42mを測る。

**面積** 31.06m<sup>2</sup>

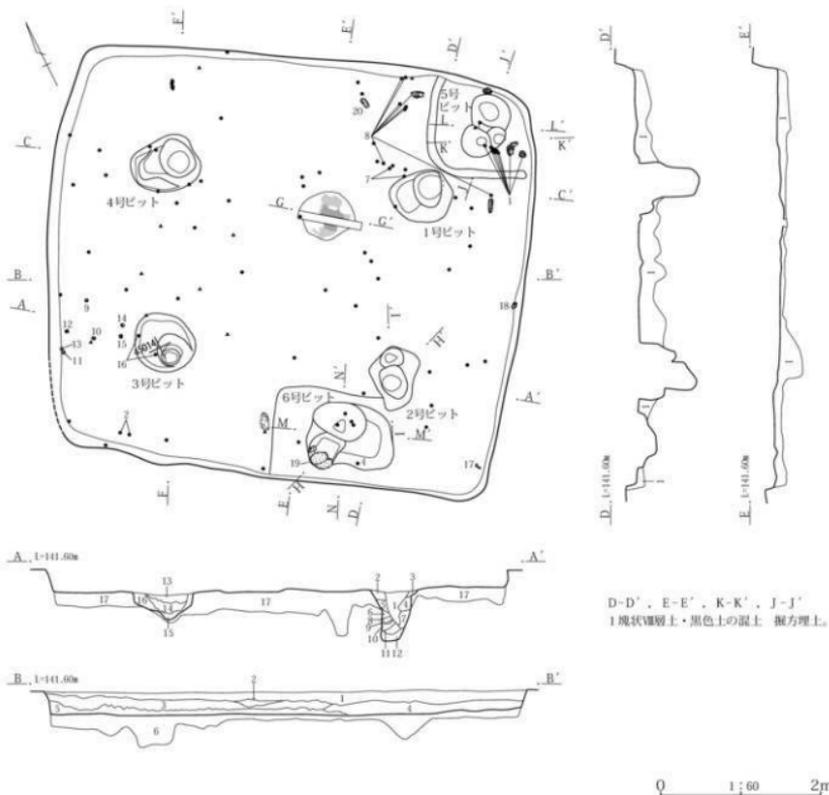
**方位** N-63°-W

**重複** 1227号土坑が住居掘方より検出されている。1227号土坑は縄文時代前期後葉及び後期前葉の遺物が出土していることから、縄文時代の土坑と考えられ、土坑埋没後20号住居が構築されたと考えられる。

**埋没土** As-Cを含む黒色土。レンズ状に堆積しており、自然埋没土と考えられる。

**床面** 住居全体に掘方を構築している。掘方は住居中央部では0.08m程度と浅いが壁際は0.12m～0.40mと深く構築されていた。構築土はロームブロックを多量に含む黒色土である。床面の残存深度は0.29mを測る。壁溝は確認されなかった。

**柱穴** 4基確認した。北東の柱穴から時計回りに1号ピット～4号ピットと付した。1号ピットは長軸0.80m、短軸0.67mを測る楕円形を呈し、深さ0.77mを測る。2号ピットは長軸0.80m、短軸0.51mを測る楕円形を呈し、



第79図 20号住居(1)

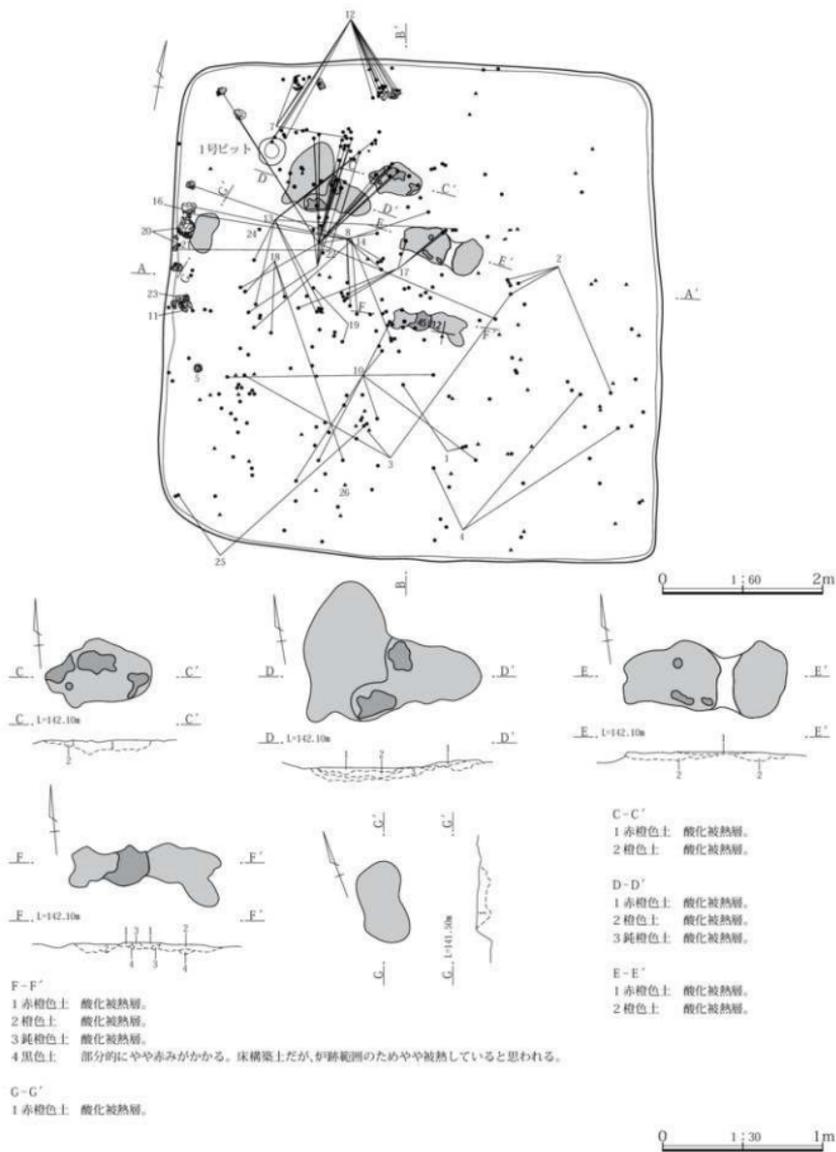








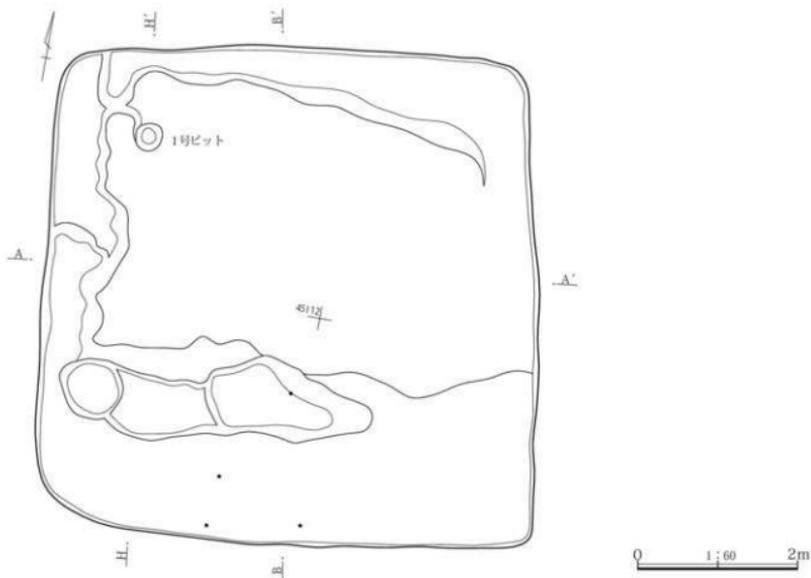




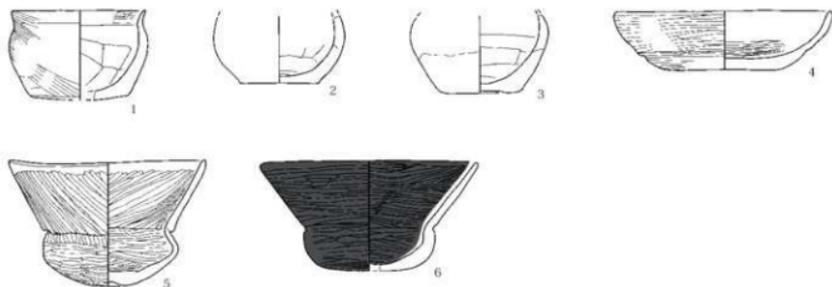
第85図 21号住居(2)

**所見** 21号住居は住居南側2/3程度が中世に由来すると見られる水田に破壊されていた。住居北側より五カ所の被熱面が確認された。南半面にも被熱面があった可能性も考えられる。図示した遺物は床直上から出土している

ものがほとんどであり、ほぼ使用時のものと思われる。古墳時代前期、4世紀代の住居跡と考えられるが、裏にヘラ削り整形を施しているものが多く、この住居群の中では新しい時期の住居跡と考えられる。



第86図 21号住居(3)



第87図 21号住居出土遺物(1)

























































































































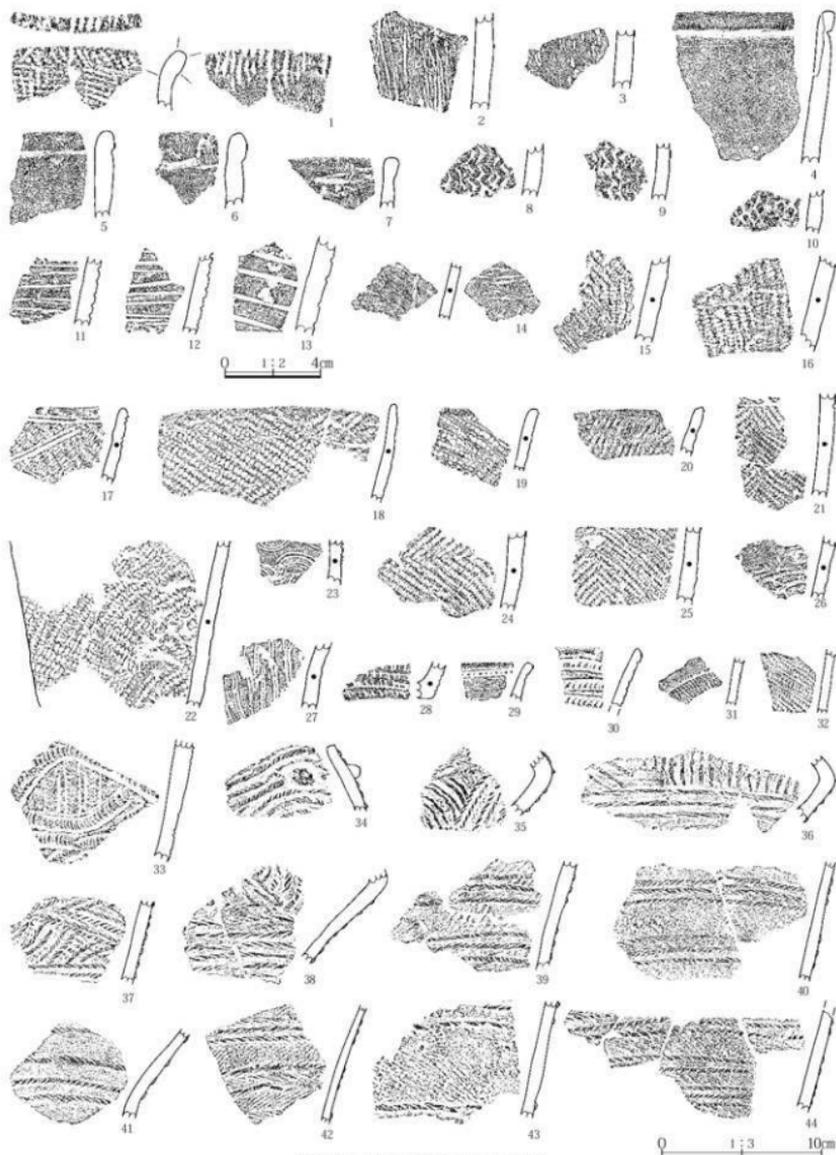






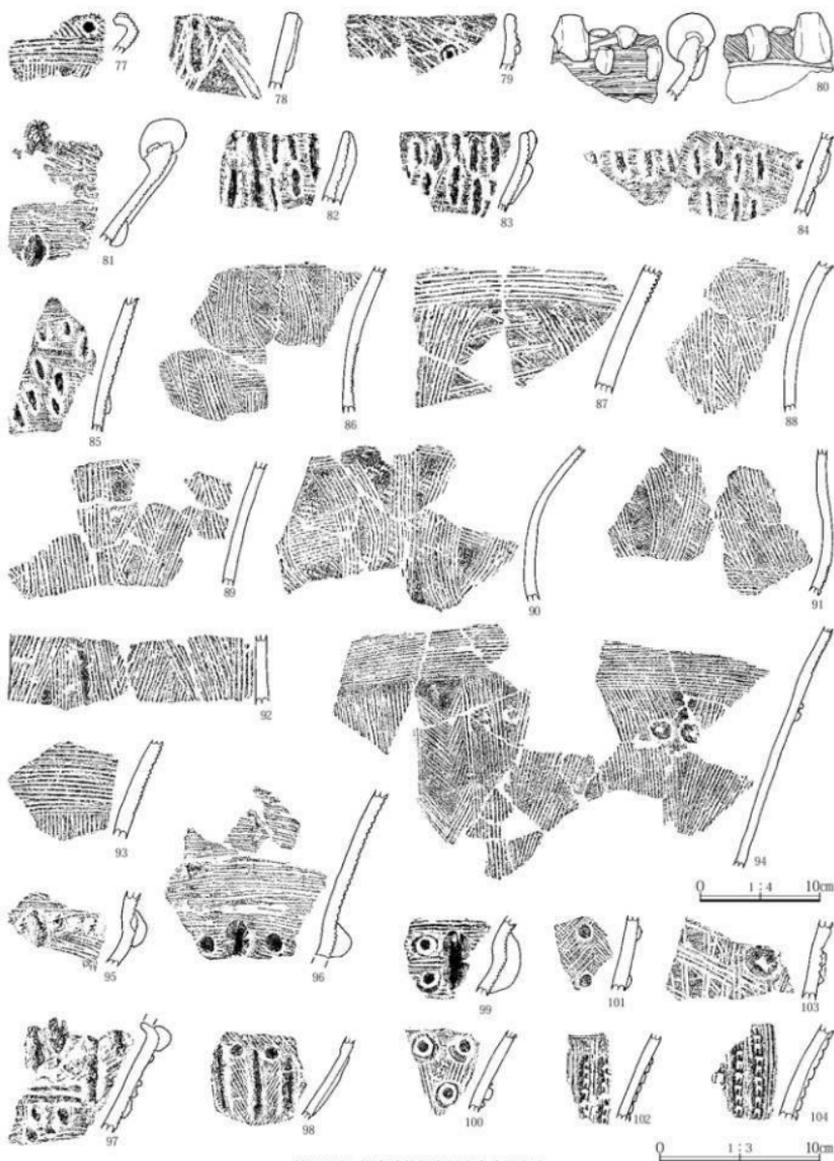






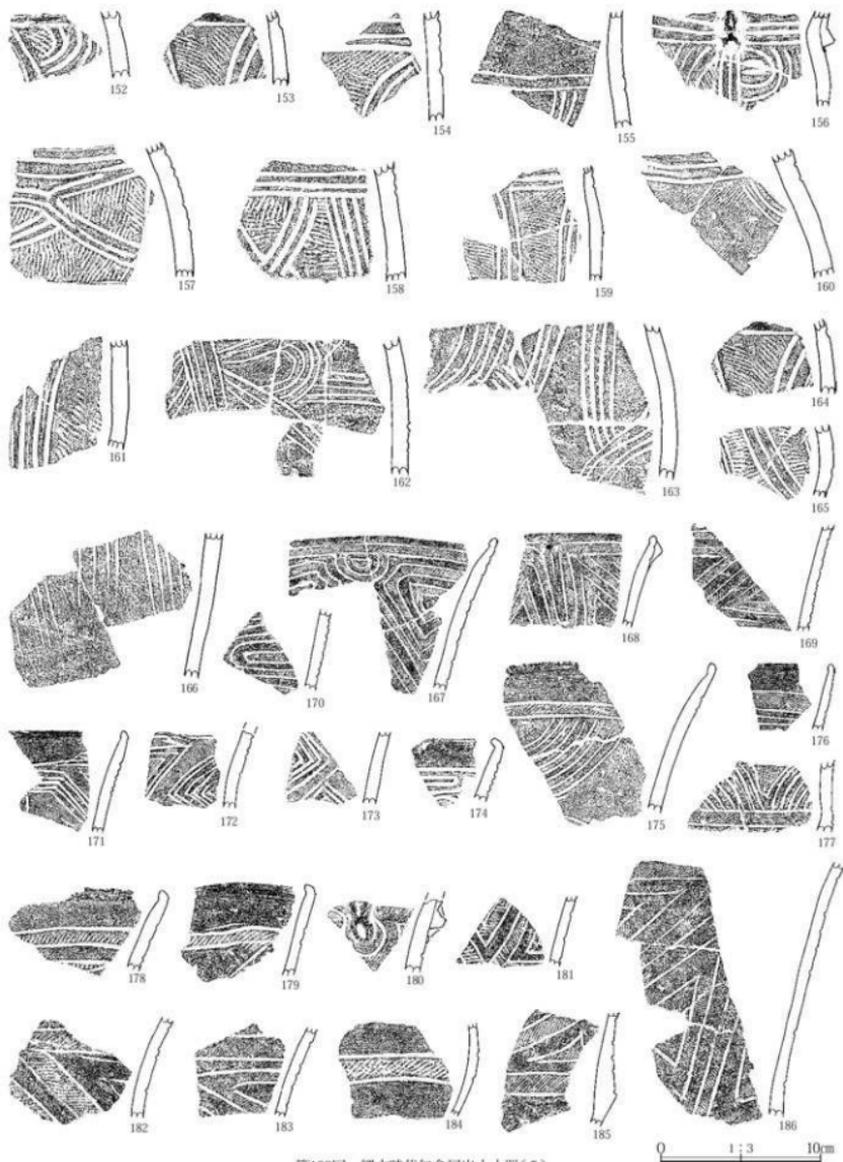
第129図 縄文時代包含刷出土土器(1)





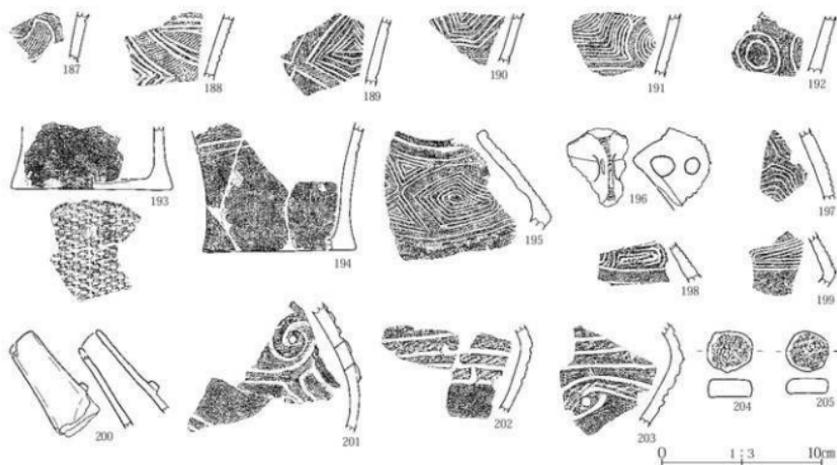
第131図 縄文時代包含層出土土器(3)





第133図 縄文時代包含層出土土器(5)

第9節 縄文包含層



第134図 縄文時代包含層出土土器(6)







第135圖 縄文時代包含層出土石器(1)



第136図 縄文時代包含層出土石器(2)

























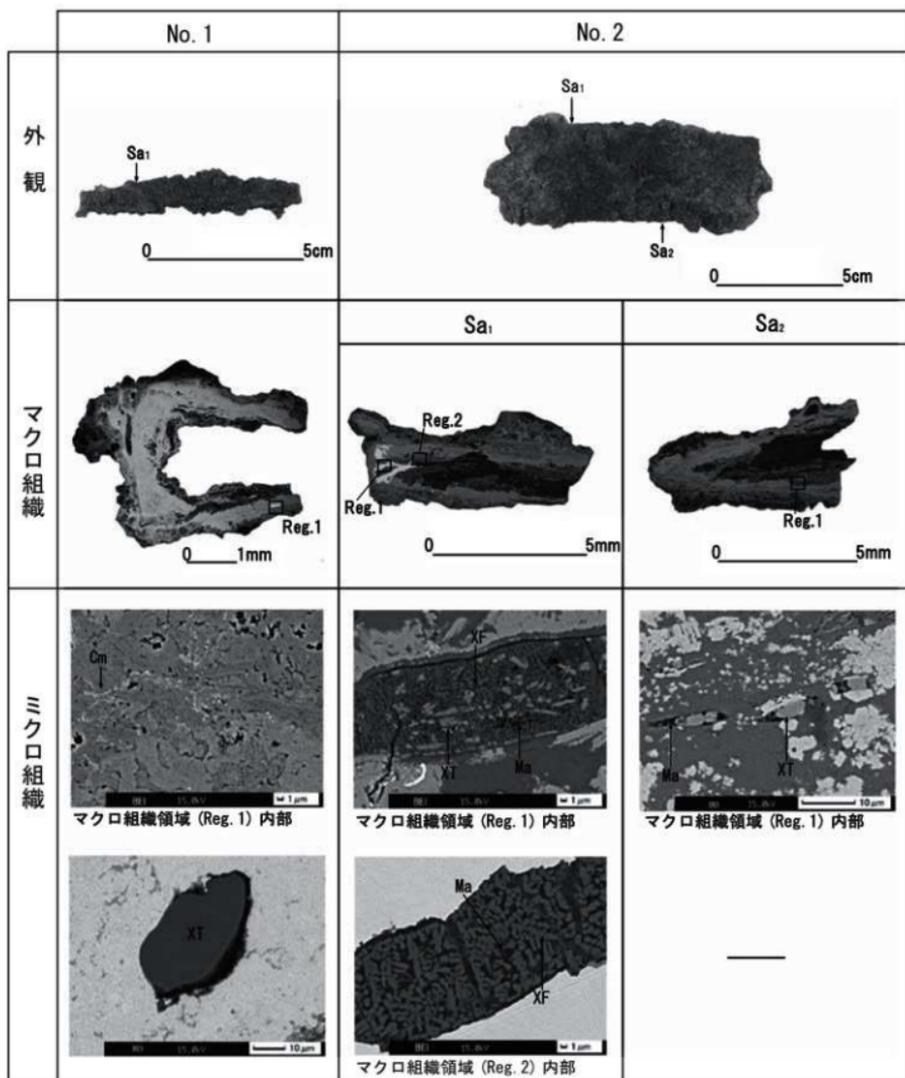






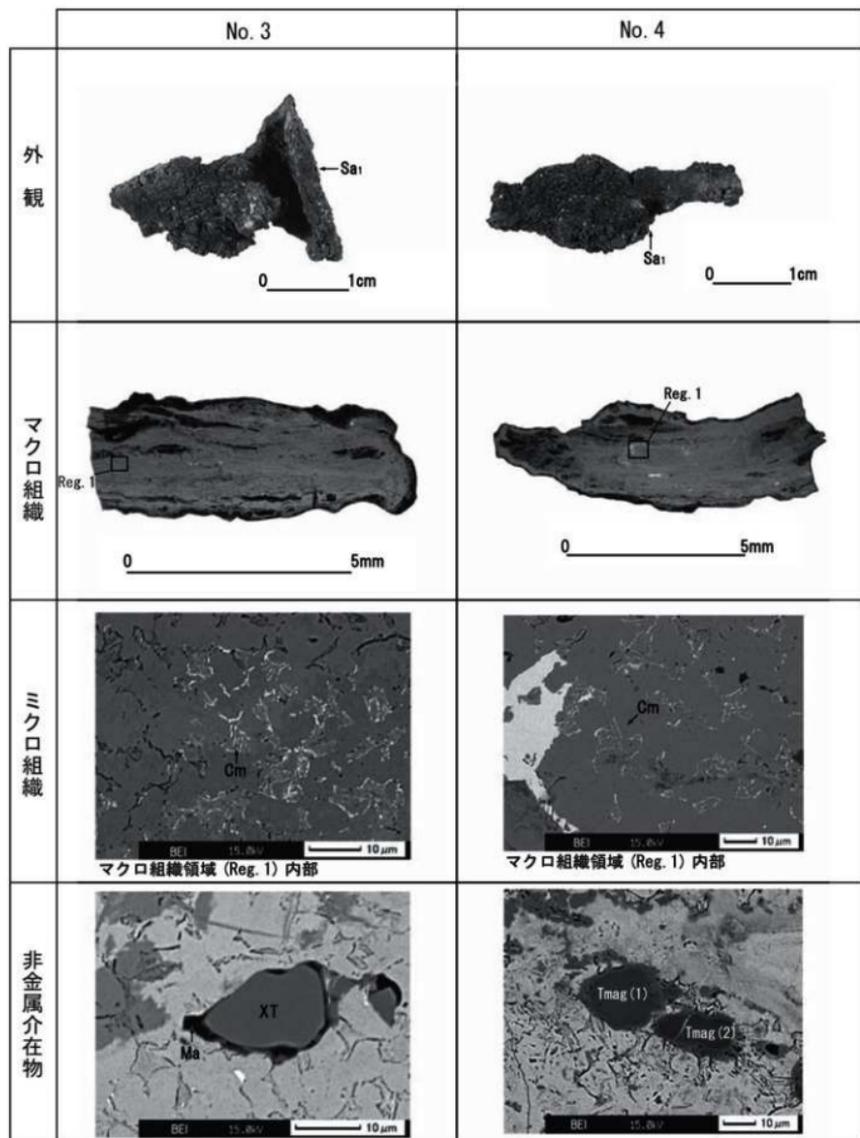






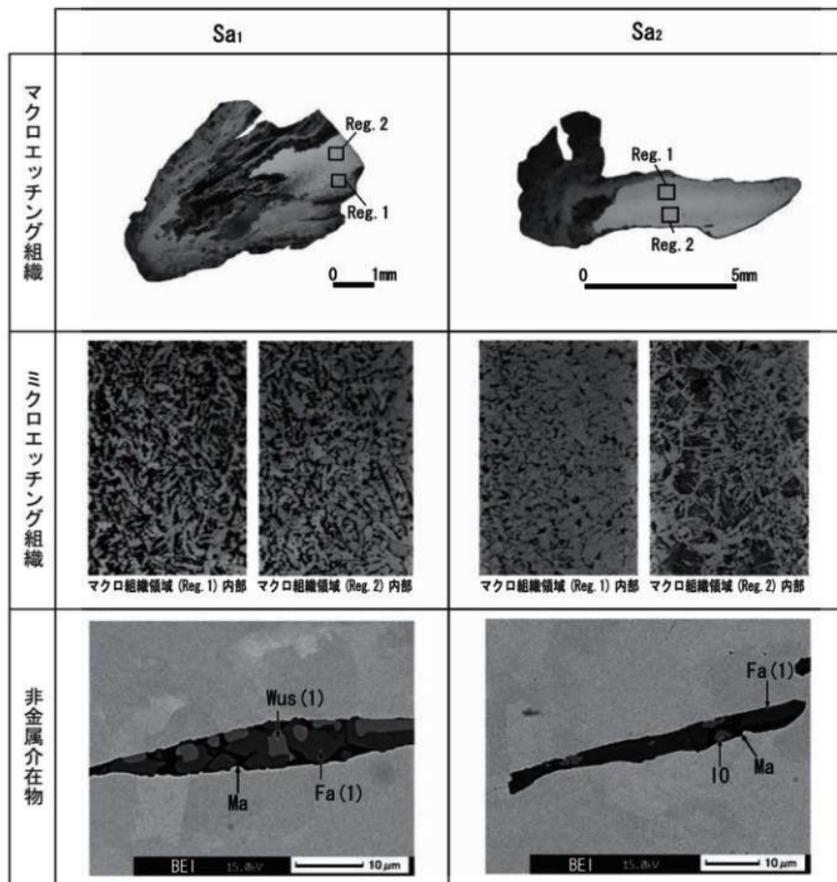
No. (分析番号)は第15表に対応。外観の矢印は試料抽出位置。ミクロ組織はマクロ組織領域(Reg. 1)または領域(Reg. 2)内部。Cmはセメントまたはその欠落孔。XT=Fe-Ti-Al-Mg-V-O系化合物、XF=Fe-Mg-Si-O系化合物、Ma=微細粒子が混在するガラス化した領域。

第142図 No.1およびNo.2から抽出した試料の組織観察結果



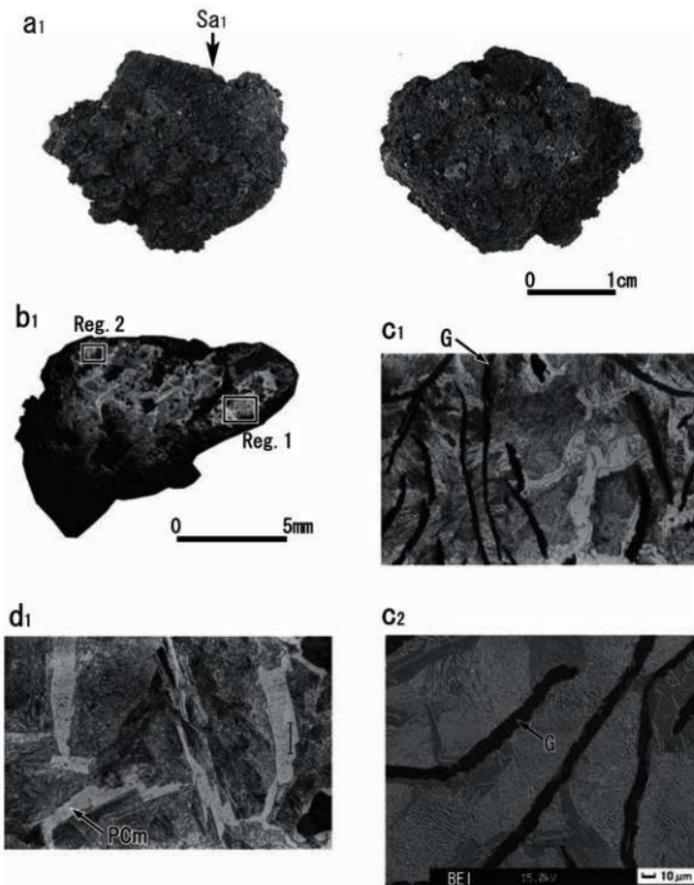
No. (分析番号)は第15表に対応。外観の矢印は試料抽出位置。ミクロ組織はマクロ組織領域 (Reg. 1) 内部。Cmはセメントタイトまたはその欠落孔。XT=Fe-Ti-Al-Mg-V-O系化合物 (Tmag=チタノマグネタイト)、Ma=微細粒子が混在するガラス化した領域。

第143図 No.3およびNo.4から抽出した試料の組織観察結果



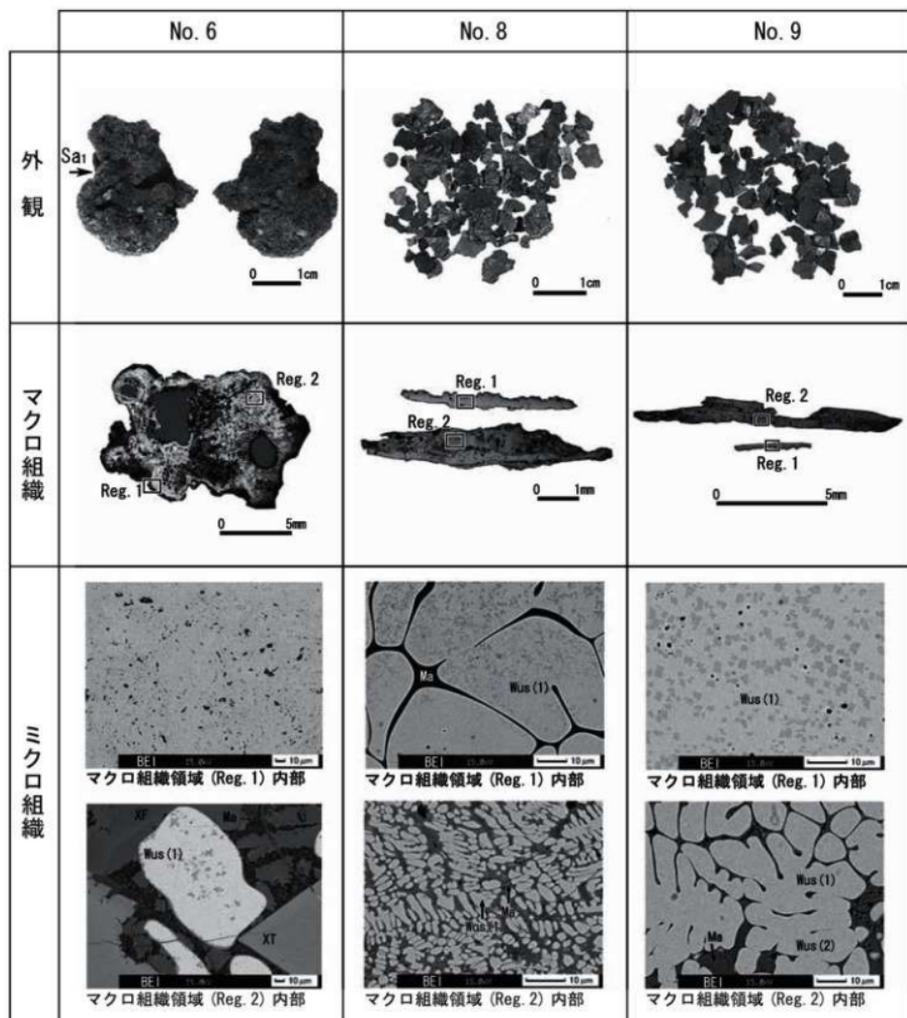
No. (分析番号)は第15表に対応。外観の矢印は試料抽出位置。エッチングはナイトール(硝酸2.5mlとエチルアルコール97.5mlの混合溶液)による。ミクロエッチングはマクロエッチング領域(Reg. 1)および領域(Reg. 2)内部。Io=酸化鉄(Wus=ウスタイト)、Fa=鉄かんらん石、Ma=微細粒子が混在するガラス化した領域。

第144図 No.7から抽出した試料の組織観察結果

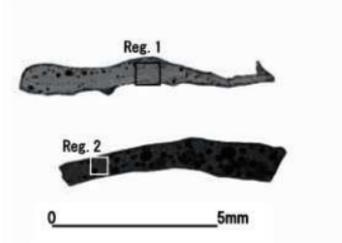
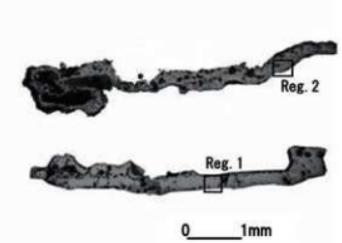
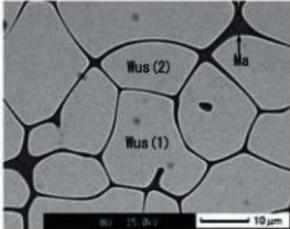
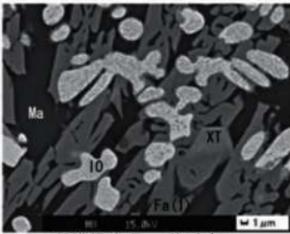
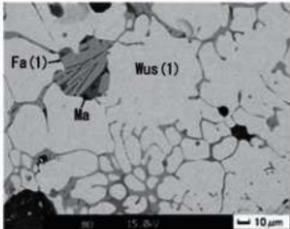
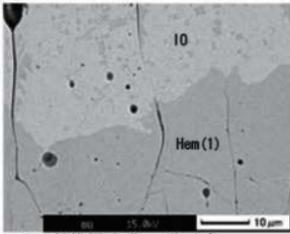


No. (分析番号)は第15表に対応。a1 : 外観。矢印は試料抽出位置。b1 : マクロエッチング組織。エッチングはナイタルによる。c1・2 : b1領域 (Reg. 1) 内部のマイクロエッチング組織。d1 : b1領域 (Reg. 2) 内部のマイクロエッチング組織。G=片状黒鉛、PCm=初析セメントタイト。

第145図 No.5から抽出した試料の組織観察結果

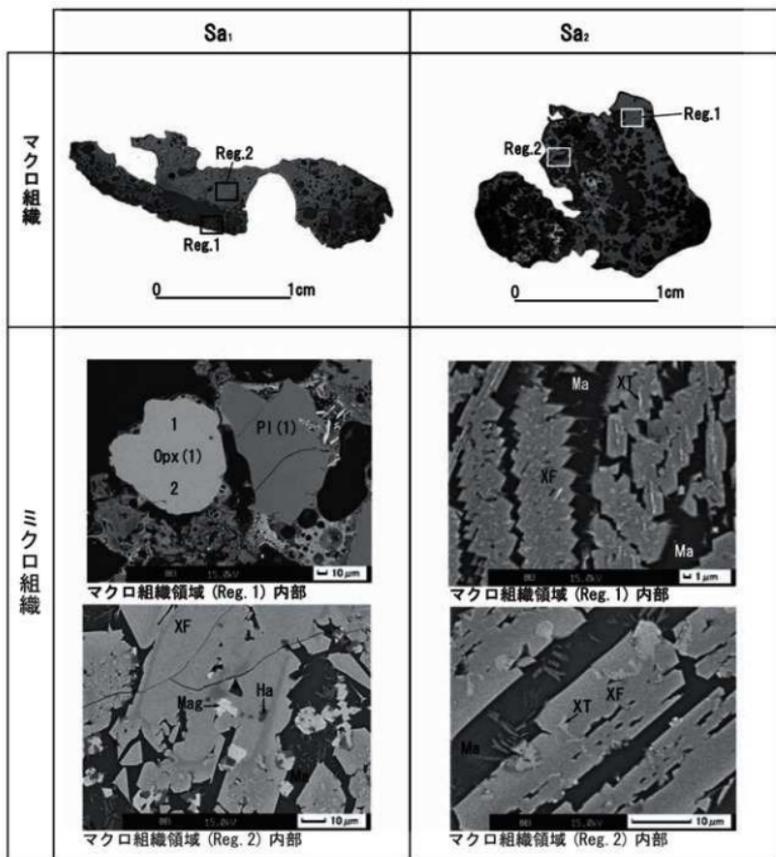
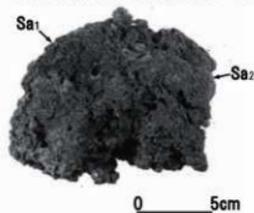


No. (分析番号)は第15表に対応。外観の矢印は試料抽出位置。ミクロ組織はマクロ組織領域 (Reg. 1) および (Reg. 2) 内部。Wus=ウスタイト、XT=Fe-Ti-Al-Mg-V-O系化合物、XF = Fe-Mg-Si-O系化合物、Ma=微細粒子が混在するガラス化した領域。

	No. 10	No. 14
外観		
マクロ組織		
ミクロ組織	 マクロ組織領域 (Reg. 1) 内部  マクロ組織領域 (Reg. 2) 内部	 マクロ組織領域 (Reg. 1) 内部  マクロ組織領域 (Reg. 2) 内部

No. (分析番号)は第15表に対応。ミクロ組織はマクロ組織領域 (Reg. 1) および (Reg. 2) 内部。  
 10=Fe-O系化合物 (Wus=ウスタイト、Hem=ヘマタイト)、Fa=鉄かんらん石、XT=Fe-Ti-Al-Mg-V-O系化合物、Ma=微細粒子が混在するガラス化した領域。

第147図 No.10およびNo.14から抽出した試料の組織観察結果

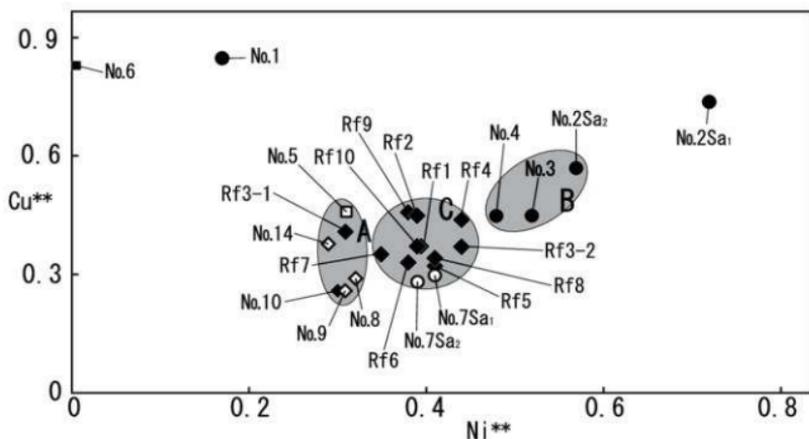
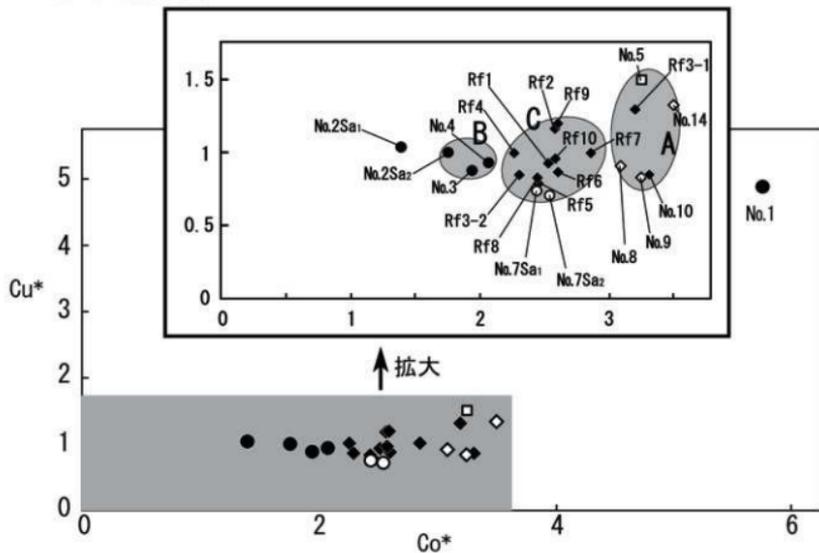


No. (分析番号)は第15表に対応。ミクロ組織はマクロ組織領域(Reg. 1)および(Reg. 2)内部。  
 XT=Fe-Ti-Al-Mg-V-O系化合物 (Tmag=チタノマグネタイト)、XF=Fe-Mg-Si-O系化合物、  
 Ha=Fe-Al-O系化合物、Pl=斜方輝石、Opx=斜方輝石、Ma=微細粒子が混在するガラス化した領域。

第148図 No13から抽出した試料の組織観察結果







No. は第15表に対応。Rf1~5=富田下大日遺跡出土鉄器 (Rf1=棒状鉄器、Rf2=有袋鉄斧、Rf3=鉄鋤、Rf4=大形鋤先、Rf5=刀子)、Rf6~10=富田漆田遺跡出土鉄器・鉄片 (Rf6=釘、Rf7=鋤、Rf8=刀子、Rf9=鉄片、Rf10=刀子)。黒丸(●)=鉄チタン酸化物が見出された鉄器、白丸(○)=鉄チタン酸化物が見出されなかった鉄器、白四角(□)=鉄チタン酸化物が見出されなかった鉄塊、黒四角(■)=鉄チタン酸化物が見出された鉄塊、白菱形(◇)=鉄チタン酸化物が見出されなかった鍛造剥片、黒菱形(◆)=鉄チタン酸化物が見出された鍛造剥片。Co\*=(mass%Co)/(mass%Ni)、Cu\*=(mass%Cu)/(mass%Ni)、Ni\*\*=(mass%Ni)/(mass%Co)、Cu\*\*=(mass%Cu)/(mass%Co)。

第151図 五代砂留遺跡群出土鉄器・鉄塊・鍛造剥片および富田漆田・富田下大日両遺跡出土鉄器・鉄片に含有されるNi・Co・Cuの三成分比

































































# 写真図版





赤城山南麓地形（南方から）



道跡全景（北方から）



遺跡全景 (南方から)



22区全景 (西から)



32区全景(南から)



33区全景(南から)



34区全景(西から)



45区全景(北から)





1 2号住居遺物出土状況(西から)



2 2号住居全景(西から)



3 2号住居カマド遺物出土状況(西から)



4 2号住居カマド全景(西から)



5 2号住居掘方全景(西から)



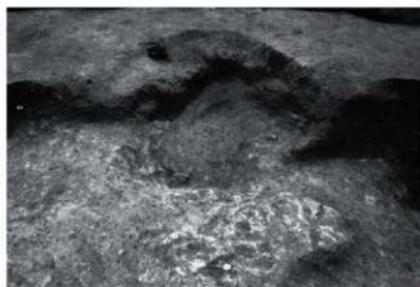
1 3号住居全景(西から)



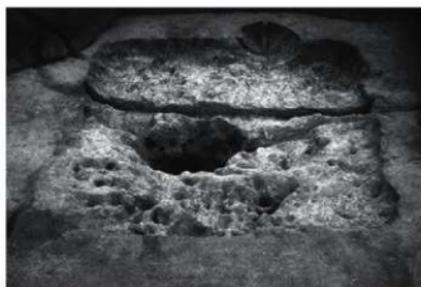
2 3号住居遺物出土状況(西から)



3 3号住居カマド遺物出土状況(西から)



4 3号住居カマド全景(西から)



5 3号住居掘方全景(西から)





1 5号住居全景(西から)



2 5号住居遺物出土状況(西から)



3 5号住居カマド遺物出土状況(西から)



4 5号住居掘方全景(西から)



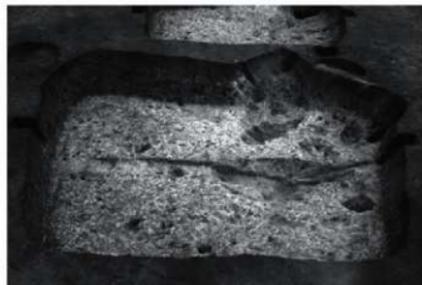
5 5号住居カマド掘方全景(西から)



1 6号住居全景(西から)



2 6号住居カマド全景(西から)



3 6号住居掘方全景(西から)



4 6号住居カマド掘方全景(西から)



5 6号住居遺物出土状況(西から)



1 7号住居全景(西から)



2 7号住居カマド全景(西から)



3 7号住居掘方全景(西から)



4 7号住居カマド全景(西から)



5 7号住居カマド掘方全景(西から)





1 9号住居遺物出土状況(西から)



2 9号住居カマド全景(西から)



3 9号住居掘方全景(西から)



4 9号住居カマド遺物出土状況(西から)



5 8号住居・9号住居全景(西から)



1 10号住居全景(西から)



2 10号住居カマド全景(南西から)



3 10号住居掘方全景(西から)



4 10号住居カマド石組状況(西から)



5 10号住居カマド掘方全景(西から)



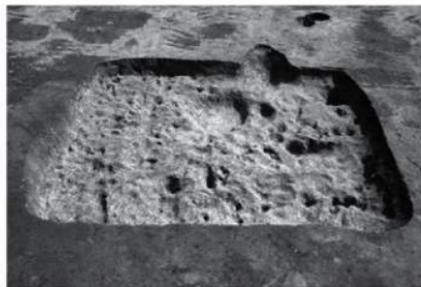
1 11号住居全景(西から)



2 11号住居遺物出土状況(北から)



3 11号住居カマド全景(西から)



4 11号住居掘方全景(西から)



5 11号住居カマド掘方全景(西から)



1 12号住居全景(西から)



2 12号住居カマド遺物出土状況(西から)



3 12号住居カマド全景(西から)



4 12号住居カマド掘方全景(西から)



5 12号住居調査状況



1 13号住居全景(西から)



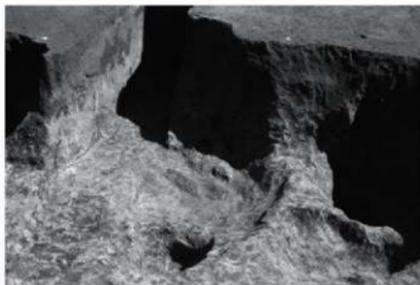
2 13号住居遺物出土状況(北西から)



3 13号住居カマド全景(西から)



4 13号住居掘方全景(西から)



5 13号住居カマド掘方全景(西から)



1 14号住居全景(西から)



2 14号住居掘方全景(西から)



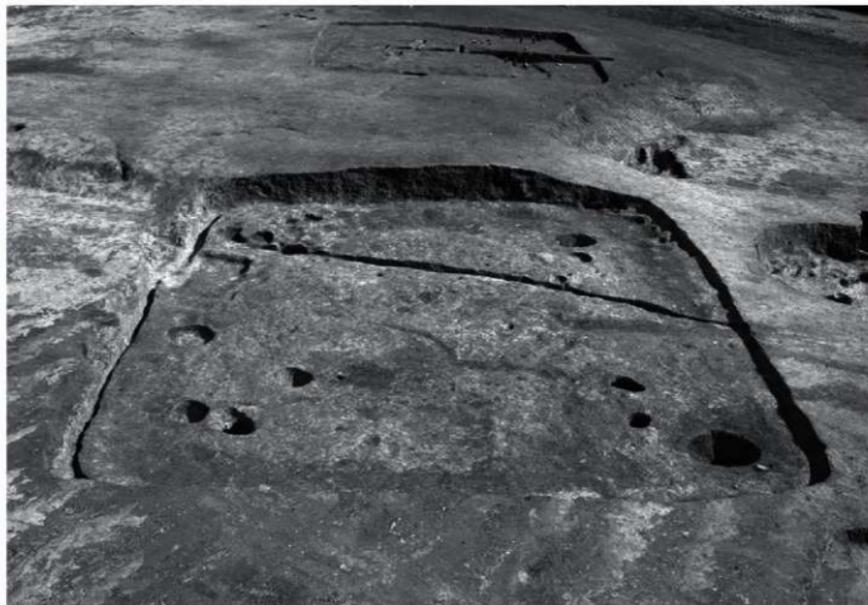
3 14号住居カマド全景(西から)



4 14号住居カマド掘方全景(西から)



5 14号住居調査状況(南東から)



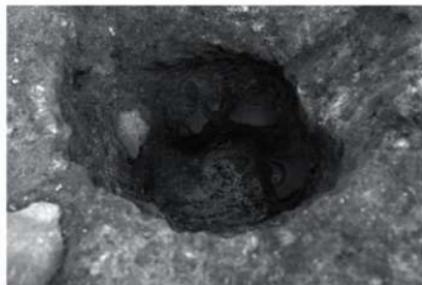
1 15号住居全景(南西から)



2 15号住居遺物出土状況(南西から)



3 15号住居炭化物出土状況



4 15号住居5号ピット全景



5 15号住居掘方全景(南西から)



1 16号住居全景(南西から)



2 16号住居掘方全景(南西から)



3 16号住居埋裏榦(西から)



4 16号住居遺物出土状況その1



5 16号住居遺物出土状況その2

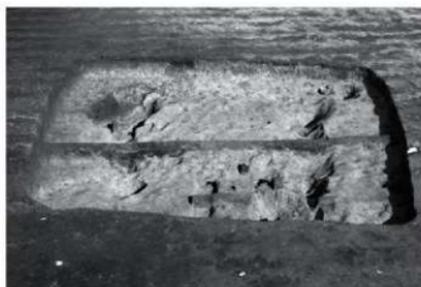




1 20号住居全景(南西から)



2 20号住居跡全景



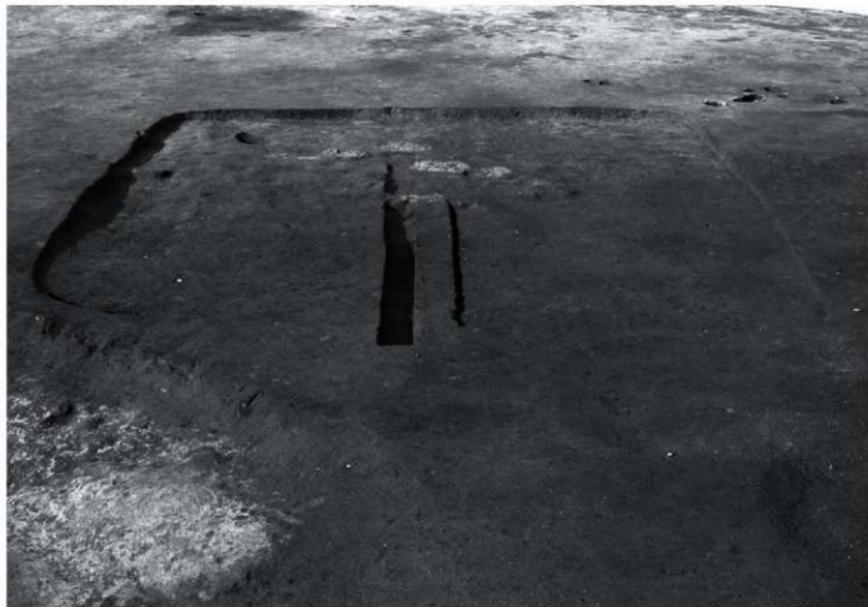
3 20号住居掘方全景(南西から)



4 20号住居5号ピット全景(北東から)



5 20号住居6号ピット全景(北東から)



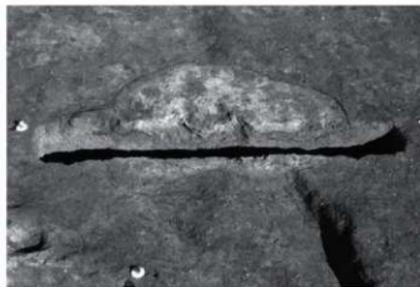
1 21号住居全景(南西から)



2 21号住居遺物出土状況



3 21号住居焼土全景(南西から)



4 21号住居焼土断面C-C'(南西から)



5 21号住居焼土断面E-E'(南西から)



1 25号住居全景(南から)



2 25号住居断面(南から)



3 25号住居掘方全景(西から)



4 25号住居跡全景(南から)



5 25号住居遺物出土状況(西から)



1 27号住居全景(北西から)



2 27号住居カマド全景(北西から)



3 27号住居掘方全景(北西から)

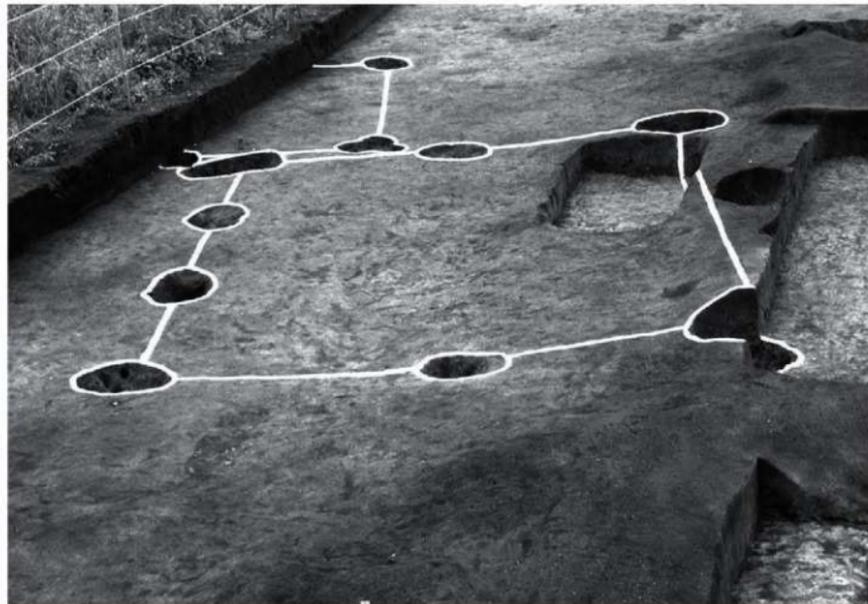


4 27号住居カマド掘方全景(北西から)



5 27号住居遺物出土状況(北から)

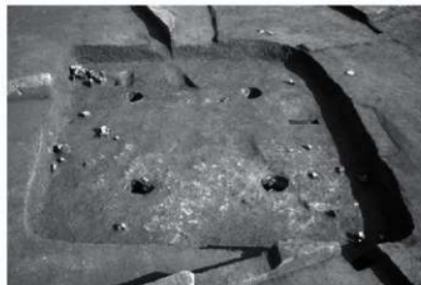




1 1号・2号掘立柱建物全景(東から)



2 24号住居跡全景(北東から)



3 26号住居全景(南西から)



4 26号住居掘方全景(南西から)



5 26号住居遺物出土状況(南西から)



1 1～4号溝全景(西から)



2 1号溝全景(南東から)



3 5号溝掘方全景(北から)



1 4号溝全景(北から)



2 8号溝全景その1(南西から)



3 8号溝全景その2(南東から)



4 9号溝全景(北から)



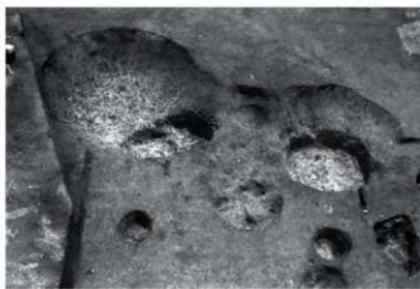
1 7号溝全景(北東から)



2 3号道全景(北から)



1 鍛冶遺構遺物出土状況(北東から)



2 鍛冶遺構全景(北東から)



3 鍛冶遺構遺物出土状況(南東から)



4 1号竪穴状遺構全景(南から)



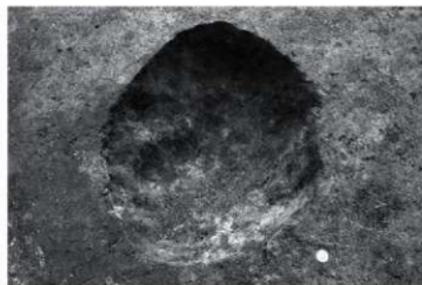
5 17号土坑全景(北から)



1 1129号土坑全景(北から)



2 1196号土坑全景(北から)



3 1199号土坑全景(北から)



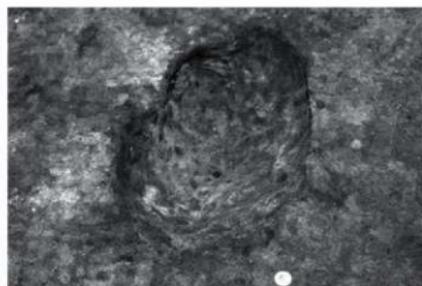
4 1225号土坑全景(南から)



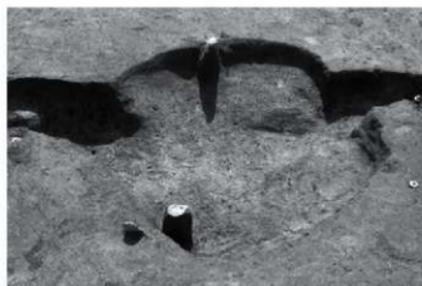
5 1226号土坑全景(南から)



6 1227号土坑全景(北東から)



7 1260号土坑全景(北から)



8 1369号土坑全景(北から)



1 1373号土坑全景(北から)



2 1373号土坑深鉢出土状況(北西から)



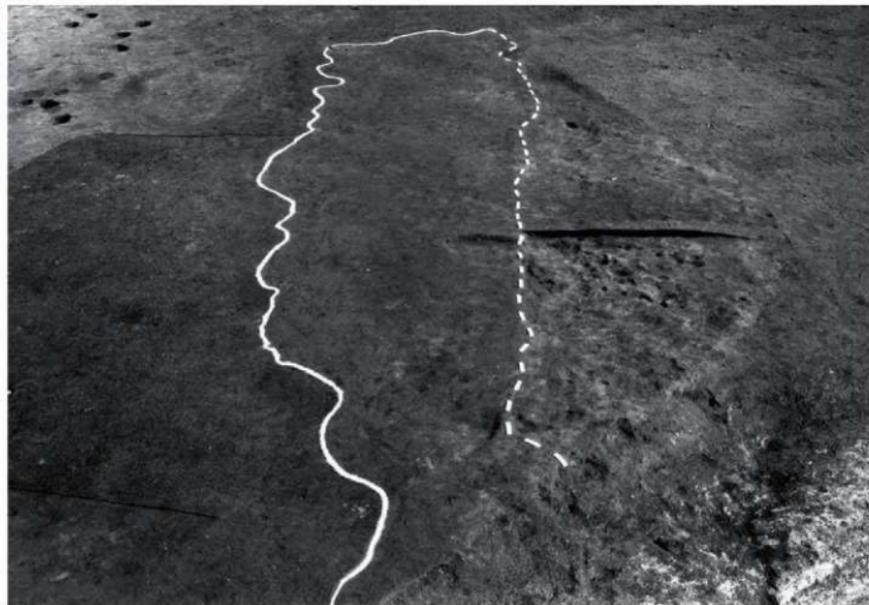
3 1370号土坑全景(北から)



4 1371号土坑全景(北から)



5 1379号土坑全景(北から)



1 As-B混入土を含む水田全景(北から)



2 谷地全景(北東から)





4号住居出土遺物



29図-15



30図-18



30図-19



30図-21



30図-22



29図-16



29図-17



30図-20



30図-23



5号住居出土遺物



33図-5



33図-6



34図-7



34図-9



35図-11



34図-10



34図-12

PL.40

6号住居出土遺物



7号住居出土遺物



8号住居出土遺物











































財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団調査報告書 第530集

## 五代砂留遺跡群

一般国道(上武道路)改築工事に伴う埋蔵文化財発掘調査(その3)

---

平成24年(2012)2月27日 印刷

平成24年(2012)3月5日 発行

編集・発行／財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団

〒377-8555 群馬県渋川市北碓町下箱田784番地2

電話(0279) 52-2511 (代表)

ホームページアドレス <http://www.gummaibun.org/>

印刷／杉浦印刷株式会社

---



# 五代砂留遺跡群遺構 全体図 (1/800)

